

とるむのきぬべー又至て考へ終る野鷹のきと追ふやうく
人衆れおともども行くきとめづさしとせうがものをハきむあてハ
とて山陰を市中とらぎひてわれが新迎く市街とらうし遊ぶ
のこころ又の終ふ彼鷹人のよみ離散の事と解もやりしうと解う
離散せし鷹れきくハゆで山陰なまは迎き本歳とある本居
とも終むとるさしとけひぬさう此歌あるが中よのうく深く
考へ終ひく又後よ花よの終ひー説とも今がーあしぬき
とく軒端を全く惜字めくのもさしハ退羽のゆきて義鷹のなが
うぬゆきやもそれハ拳のこめくさるだうさうのわるりのやそれ
拳のこめく退く飛むとるさし鷹の詞めくのもささうのうとささく